

第 42 回群馬緩和医療研究会 プログラム

テーマ： 小さな病院の緩和ケアのあれこれ

～小さいからならではのお困りごと、工夫していること、教えてください～



日本医師会生涯教育講座認定（2 単位）

カリキュラムコード： 10、81

日病薬病院薬学認定 区分Ⅲ-1（1.5 単位）

日 時：2025 年 9 月 13 日（土）13:00 ～ 16:30

会 場：バイテック文化ホール 大ホール・大会議室

群馬県吾妻郡中之条町西中之条 135 TEL 0279-75-5174

参加費：1,000 円（学生 500 円）

当番世話人：笹本 肇、加藤 裕美（原町赤十字病院）

共催：群馬緩和医療研究会・群馬県病院薬剤師会

セッション 1 のみ共催：塩野義製薬株式会社

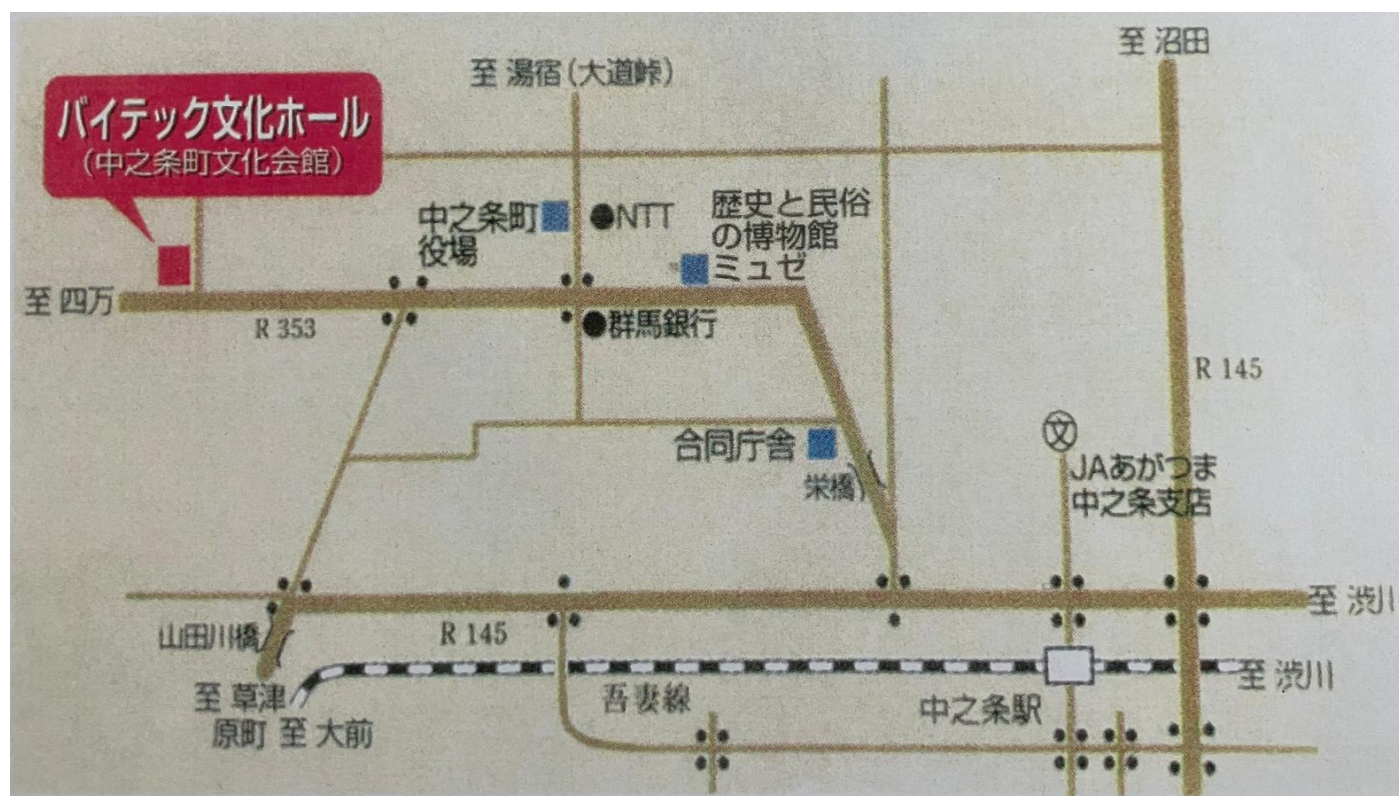
＊セッション 1 は、「適切な講演会運用を行うため、講演内容を録画または録音させていただきます」

＊医薬関係者以外の参加はご遠慮いただいております

主として医師、歯科医師、薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、

臨床心理士等の医療専門家（医学部・薬学部等の学生を含む）及び医療施設において医療に従事する職員

バイテック文化ホール



(公共交通機関でお越しの際)

最寄り駅 JR 吾妻線中之条駅

- ・徒歩の場合：約 30 分 (2.5km)
- ・路線バス利用の場合

「四万温泉行き」または「上之町経由沢渡行き」に乗り「文化会館前バス停」で下車
帰りは中之条駅行きに乗車

※時刻表は、インターネットで「中之条駅 バス」で検索してください。

*参加者の方へ

受付は 12:00 開始です。ポスター発表者は 11:00 から受け付けています。

*群馬県病院薬剤師会から薬剤師の先生方へ現地(対面)参加される場合についての連絡です。

1. 本講演会への参加と、レポート提出により日病薬病院薬学認定区分なし(1.5 単位)の取得が可能です。なお、単位区分は申請時のもので日病薬での認定の際、変更になる場合もあります。
2. 日病薬病院薬学認定単位取得を希望する場合には、講演終了日を含めて3日以内にレポートを提出してください。レポートの提出先についてはグーグルフォームにて <https://forms.gle/fr8CiqdhzNQ6YTPx9> からお願い致します。レポート作成に際し、事前にご自身の薬剤師登録番号をご確認ください。レポート提出の際に登録するメールアドレスは、事務局から連絡可能なメールアドレスを登録してください。なお、グーグルフォームで入力した項目については、認定単位取得目的以外には使用いたしません。



レポート提出用コード

開会の辞 13:00～

内田信之（ 原町赤十字病院 病院長 ）

カリキュラムコード: 81.終末期ケア (1 単位)

【セッション1 口演】 13:05～14:20（発表6分、質疑応答3分）

<座長> 本多昌子（ 渋川医療センター 看護師）

<座長> 森田廣樹（ 森田クリニック 医師）

1. 骨転移を有する患者へのリハビリテーション同意書を運用開始して

原町赤十字病院

¹リハビリテーション科部、²看護部、³地域医療連携課、⁴緩和ケア科

○山崎悠史¹、松井加奈²、萩原唯史¹、金子貴³、笹本肇⁴

2. 「食を通してのエンドオブライフケア～かんわケア大地のこころみ」

在宅福祉かんわケア大地 HugHeartーハグハートー訪問看護ステーション

○中澤篤志、反町利恵、山口久美、三村幸恵、新井美穂、福田幸子、高野舞子、萩原陽子、有江美奈子、狩野智子

3. 「苦痛のスクリーニング10年間の歩みから見えたこと」

群馬大学医学部附属病院 ¹緩和ケアセンター、²麻酔・集中治療科、³腫瘍センター、⁴群馬大学大学院医学系研究科 腫瘍内科学

○角田明美¹、篠田静代¹、井上智香¹、宮澤純江¹、菅原健志郎²、山田真紀子^{1,3}、高張大亮^{1,3,4}

4. 「進行がん患者に対する早期からの緩和ケア」

桐生厚生総合病院

○五十嵐千代子、荒川浩

【座長交代】

<座長> 京田亜由美（群馬大学大学院保健学研究科 看護師）

<座長> 山崎悠史（原町赤十字病院 理学療法士）

5. 「当事者研究としてのがんサロン」

¹伊勢崎市民病院 緩和ケア内科、²一般社団法人がん哲学外来 認定コーディネーター

○廣野正法¹、塚本 恵美子²

6. 「独居や高齢者が多い地域での緩和ケアの実際」

桐生厚生総合病院 ¹乳腺外科、²看護部、³薬剤部

○森下亜希子¹、荒川 浩²、五十嵐千代子²、栗原 麻奈美³

7. 「現場の大小や職域によらず気がかりを語り合える広場の試み

ー地域ケア意見交換会の意味ー」

さいたま赤十字病院 緩和ケアセンター

○原敬、他

【休憩 10 分】 14 : 20～14 : 30

【セッション 2 ポスター発表】 14 : 30～15 : 15 カリキュラムコード : 81.終末期ケア (0.5 単位)

ポスター付近等で自由討論

(発表者は質問が受けられるようポスター付近に待機してください)

8. 「当院における緩和ケアチーム介入中のがんリハビリテーションを実施した患者の特徴と効果について」
桐生厚生総合病院 医療技術部 リハビリテーション科
○木村吏志、小林香保、吉田仁、星野駿人、井田知宏
9. 「小さな病院ならではの、QOL を重視した緩和的がん薬物療法」
医療法人 角田病院
○戸塚統、和田紘子、須藤弥生、村岡やす子
10. 「終末期患者と家族の意見の相違に対する意思決定支援を振り返る～1 年目の私が若年層の終末期患者と向き合って～」
群馬大学医学部附属病院 北病棟 9 階
○清水麻衣、須田まり子、山田まり子、荒木伸生
11. 「当院における緩和ケアおよびその地域連携の現状」
医療法人二之沢会 1 二之沢病院 地域連携室、2 緩和ケア内科
○木暮将太¹、九谷理¹、高橋有我²
12. 「緩和ケア病棟で最期を過ごせた造血器腫瘍患者の 1 症例」
¹独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター ¹看護部、²緩和ケア科
○阿部美保¹、本多昌子¹、星野隼矢²、小林剛²
13. 「心理的背景への対応が疼痛マネジメントにおいて重要であったがん疼痛の 2 症例」
群馬大学医学部附属病院 ¹腫瘍センター、²緩和ケアセンター、³麻酔・集中治療科、⁴利根中央病院 精神神経科、⁵群馬大学大学院医学系研究科 腫瘍内科学
○山田真紀子^{1,2}、菅原健志郎³、宮澤純江²、井上智香²、篠田静代²、角田明美²、
藤平和吉⁴、高張大亮^{1,2,5}
14. 「看護師の倫理観を高めるためのがん看護専門看護師の取り組み—高齢がん患者への意思決定支援を通して—」
桐生厚生総合病院
○荒川浩、五十嵐千代子
15. 「在宅緩和医療における鎮静法：シュアヒューザーを用いたミタゾラム注の有用性について」
¹訪問看護ステーション真木、²真木病院緩和ケアチーム
○加藤愛子¹、笹澤桂子¹、清水麻衣¹、石黒由香里¹、杉原和美²、大沢雅美²、尾形敏郎²

【セッション3 Haramachi Red Brass 演奏】 15:20～15:35

【セッション4 座談会】15:35～16:20 カリキュラムコード: 10.チーム医療 (0.5 単位)

＜テーマ＞ 小さな病院の緩和ケア
～小さいからならではのお困りごと、工夫していること、教えてください～

＜司会＞

笹本 肇 (原町赤十字病院 医師)

金子美智 (原町赤十字病院 医療ソーシャルワーカー)

＜座談会出席者（順不同）＞

高橋有我 (二之沢病院 医師)

中神克尚 (榛名荘病院 医師)

梶田幹郎 (東邦病院 医師)

村岡やす子 (角田病院 看護師)

加藤裕美 (原町赤十字病院 看護師)

総括

次回開催案内

閉会の辞

渋川医療センター

桐生厚生総合病院

原町赤十字病院

斎藤 龍生

森下亜希子

笹本 肇